

みと
認め合い、助け合い、

かがや
みんなが輝く
朝日村

だれ
誰もが自分らしくかつやく
男女共同参画社会をめざして～



朝日村では、4,000人を超える人々が
多様な暮らしを営んでいます。

その一人ひとりが、姿形も、性格も、特技も、好き嫌いも異なる唯一無二の存在。

だれ
誰かがえらくて、だれかがすごいということはありません。

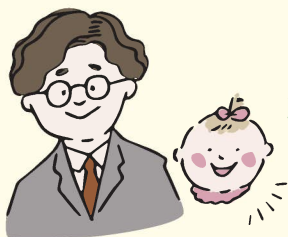
また、男だから・女だからこうでなければならない、
ということも本来ないはずです。



「みんなちがって、みんないい。」

※童謡詩人・金子みすゞの有名な言葉にあるように、

一人ひとりの違いが“個性=自分らしさ”です。



自分を大事にしなが、自分以外の個性も認められる。

朝日村では、違いを認め合い、誰もが自分らしく
かつやく
活躍できる社会をめざしています。



「男女共同参画」

ってなんだろう？

「男女共同参画」という言葉の意味を知っていますか？

言葉から難しいイメージを持たれがちですが、性別等にかかわらず全ての人がこの社会の一員として、自分の意思でどんな活動にも参画する機会が平等に確保されていることを意味します。

かつて、女性に選挙権がない時代がありましたし、女性は進学するより家事のスキルを磨いてお嫁に行くのが一番の幸せだと考えられていた時代もありました。

時は移り、働く女性が増え、社会での活躍が進みましたが、完全に男女が平等に活躍しているかというところではありません。無意識のうちに「男らしさ・女らしさ」という社会的につくられた役割（ジェンダーといいます）にとらわれて、不自由に感じている人もいないのでしょうか。そういう意味では、男女共同参画社会の実現はまだ道半ばといえます。

世界目標SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会

2015年7月の国連サミットで採択された、持続可能で、多様性を認め合い、すべての人が活躍できる社会の実現のための17のゴールと169のターゲットからなる国際目標であるSDGs(エス・ディー・ジーズ)。目指すのはすべての国、すべての人々を対象とする「誰一人取り残さない」社会の実現です。性別や年齢、国籍、障がいの有無などによる差別や不平等がなく、個性や能力を誰もが発揮でき、認め合う社会の実現が世界共通の目標となっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



男女共同参画を取り巻くトレンド・時代のキーワード

～人々の考え方や暮らし方が大きく変化しています～

性差の超越・無意味化



世界的な目標への同調

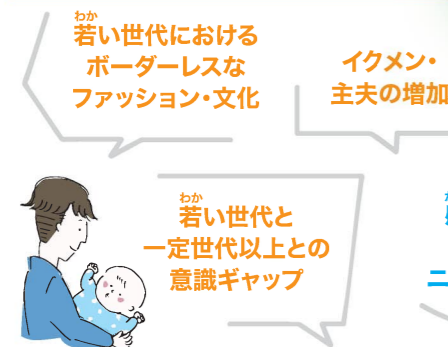


社会構造の変化



男女共同参画

世代間ギャップの拡大



生活様式や価値観の変化



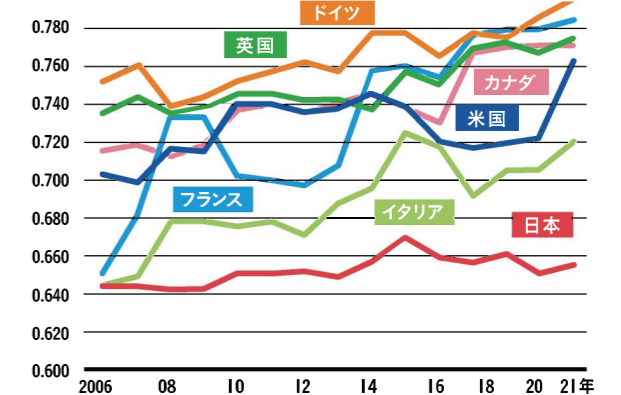
遅れている日本の男女共同参画

残念ながら、日本のジェンダー平等は世界に比べ、大きく遅れています。

世界の課題改善に取り組む国際機関である世界経済フォーラムでは、経済、政治、教育、健康の4分野で各国の男女格差を測り、「ジェンダーギャップ指数」として毎年発表しています。

2021年の日本の総合スコアは対象国156か国中、120位。下から数えた方が早い順位です。この順位はなかなか改善されず、日本全体で男女共同参画を進めていくことが求められています。

G7各国のジェンダーギャップ指数の比較



出典：内閣府男女共同参画局 HP 「共同参画」(2021年5月号)

「男女」という性別を超えて

最近では、男性・女性以外に、トランスジェンダーといわれる心と身体の性が一致していない人がいるなど、性が多様であることがわかってきました。それに応じて、男女共同参画の問題も、男性・女性という性別を超えて、あらゆる個人の多様性を重視する考え方へと視点が広がっています。いかに個人が自分らしい生き方を選択できるかが問われる時代になっているといえます。

村民のみなさんと一緒に取り組むため、男女共同参画社会を推進する条例と計画をつくりました。

条例の目的と基本理念には、朝日村がめざす男女共同参画社会の姿がまとめられています。この条例に沿って、具体的な取組をまとめたものが男女共同参画計画です。

朝日村男女共同参画社会推進条例 令和4年4月1日制定・施行

(前文)

私たちの朝日村は、縄文のいにしえからの歴史と文化を持ち、先人たちのたゆまぬ努力により、農業を基幹産業とした自然豊かな村へと発展してきた。

美しい郷土と人々の安らかな暮らしを将来の村民につなぐことは今を生きる私たちの重要な責務である。

昨今、国際社会においては、当然の権利として確立されている多様性を受け入れる積極的な取組が推進されている。我が国においても、社会経済情勢の急速な変化の中、男女共同参画社会に向けた施策が進められてきた。しかしながら、朝日村の状況を見ると家庭、地域、職場においていまだに一部で性別役割分担意識や慣行が存在することが課題となっている。

こうした中求められるのは、全ての人が尊重され、多様な性のあり方を認め、互いに支え合い、責任も分かち合いながら、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現である。

これらの認識の下、村と村民と事業者が協働して、男女の別を超えて多様な個人を尊重し合う社会に向けた取組を推進するため、この条例を制定する。

1 多様性を認め合います

全ての人が、性別にかかわらず個人としての尊厳が重んぜられること、性別による差別を受けないこと、個人として能力を発揮する機会が確保されること及び人権が尊重されること。

2 固定的な役割分担や慣習を見直します

性別による固定的な観念に基づく役割分担による社会の様々な制度又は慣行をなくすよう努めるとともに、これらの制度又は慣行が男女の社会における自由な活動に対して影響を及ぼすことのないよう配慮されること。

3 大事なことをみんなでいっしょに考えます

男女が社会の対等な構成員として、村その他あらゆる場における施策又は方針の立案及び決定の場に共同して参画する機会が確保されること。

7 女性が活躍するために仕事と家庭生活における男女の格差をなくします

職業生活における男女の不均衡を是正するとともに、家庭生活における男性の参画を推進し、女性活躍ができること。

4 家族が協力して家庭生活と仕事を両立しやすくします

家族を構成する男女が、相互の協力と社会の支援の下に、子の養育、家族の介護その他家庭生活における活動について家族の一員としての役割を円滑に果たし、就業その他の社会活動を行うことができるよう配慮されること。

5 誰もが互いの心と体の健康に配慮します

妊娠、出産、育児等について男女が互いの意思を尊重するとともに、生涯にわたり健康な生活を営むことができるよう配慮されること。

6 国際社会の取組と歩調を合わせます

男女共同参画社会の形成の促進が、国際社会における取組と密接な関係を有していることを理解し、国際的協調の下に行われること。

朝日村がめざす7つの基本理念



第3次朝日村男女共同参画計画 令和3年3月策定

朝日村がめざす姿

～認め合い、助け合い、みんなが輝く朝日村～

めざす姿を達成するための目標とおもな取組

1 男女共同参画を進めるためのルールや環境づくり

- 条例や計画などをつくり、進めやすい体制を整備します
- 村民や企業に対して男女共同参画を考えるための情報や学びの機会を提供します



2 あらゆる分野での男女共同参画の推進

- ワーク・ライフ・バランスを実現できるよう、家庭生活での男女の助け合いを進めます
- 雇用の場において女性活躍を進めます
- 農家等の自営業で男女共同参画を進めます
- 重要な政策や方針決定を行う場への女性参画を進めます
- 地域活動における男女共同参画を進めます



3 安心・安全に暮らすための支援

- 災害などの非常時において必要な男女共同参画を進めます
- 妊娠・出産期や高齢化等に配慮した世代ごとの心と体の相談と生きがいづくりを支援します
- あらゆる暴力やハラスメントの根絶に取り組みます
- さまざまな困難を抱える女性等を支援します



（ 男女共同参画のキーワード ） いくつか知っているかな？

Keyword.1 「ジェンダー」

生物学的性別をセックスと呼ぶのに対して、性別に基づいて社会的に要求される役割を指す言葉として用いられるよ。わかりやすく言うと、無意識にイメージしている「男らしさ、女らしさ」のことをジェンダーというんだ。



Keyword.2 「固定的性別役割分担意識」

「男性は仕事、女性は家庭」といった凝り固まった考え方のことだよ。特に年齢が上がるほど、その意識が根強く残っている傾向があることがアンケート調査でもわかっているよ。



Keyword.3 「ポジティブ・アクション」

ちょっと難しい言葉だけど、「積極的格差是正措置」とも言われているよ。企業等で、役職についている女性が少ないなど性別による格差を改善するために、男女のいずれか一方に対して特別の機会を提供することをいうよ。



Keyword.4 「ワーク・ライフ・バランス」

すべての働く人が仕事とそれ以外の生活（家事・育児・介護・趣味や遊び、休養、地域活動など）の両方のバランスが取れている状態だよ。仕事もプライベートも充実していると嬉しいね。



Keyword.5 「ダイバーシティ」／「インクルージョン」

ダイバーシティとは、性の違いだけでなく、年齢、人種、宗教、価値観などさまざまな属性の異なる人が集まった状態。インクルージョンは「包み込む・中に含める」という意味で、様々な個性を持つ人々を同じ属性の中に含める考え方。どちらも、企業や教育の場において、多様な人々を認め合い、同じ機会を提供することを目指すとても大事な考え方なんだ。



Keyword.6 「LGBTQ」

LGBTは、Lesbian（女性同性愛者）、Gay（男性同性愛者）、Bisexual（両性愛者）、Transgender（性別越境者）といった性的マイノリティ（少数者）を表す言葉。最近では性的マイノリティ全般を表す「Queer」や自分の性を決められない人を表す「Questioning」という2つの意味を表す「Q」を加えてLGBTQともいわれているよ。



Keyword.7 「DV/ デートDV」

DVは、「Domestic Violence」の略称で、家庭内暴力を意味しているよ。また、「自分のモノ」として扱うような、交際相手からの暴力のことをデートDVというんだ。暴力には精神的暴力や性暴力も含まれるよ。



Keyword.8 「ハラスメント」

特定、不特定多数を問わず、他者に対し不愉快な気持ちにさせることや、実質的な損害を与えるなど、不快感を与える行為の一般的な総称として使われているね。ハラスメントにも、「セクシュアル・ハラスメント」「パワー・ハラスメント」「マタニティ・ハラスメント」などがあるよ。



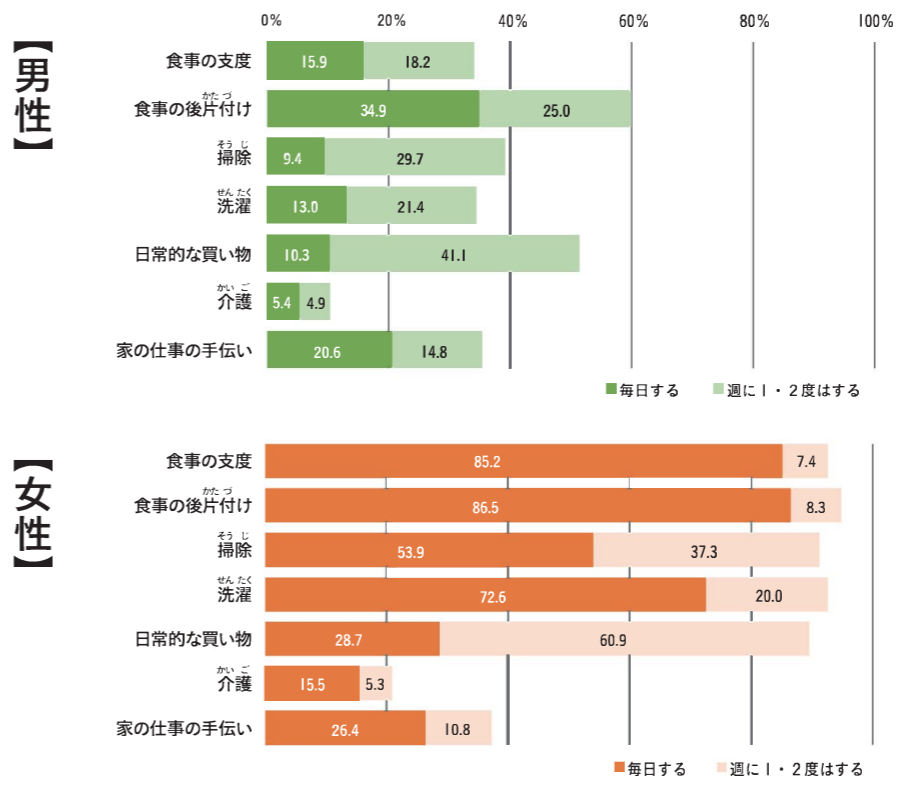
シーン別に考えてみよう！

【家庭編】



家事はみんなで協力するものじゃない？

男女別にみた家事等の実施状況



2020年に行った「朝日村男女共同参画社会に関する村民アンケート調査」では、「食事の後片付け」を毎日する男性は34.9%、それ以外の家事のほとんどを女性が担っている家庭が多いことがわかりました。

仕事をしている女性は増えているにもかかわらず、相変わらず「男性は仕事、女性は家庭」といった考え方が根強く残っていることが考えられます。
あなたのご家庭ではどうですか？

見直しポイント

- ☑ 家庭での役割を見直してみよう。
- ☑ 家事や育児・介護等を分担しやすくするためには、柔軟な働き方を可能にする職場の制度整備や理解促進も大切です。



みんなの声

性別で凝り固まった考え方を改善することが大切だと思います。家族が性別により固定することなく子育てや介護を積極的に行うことができるように、村は環境を整えてほしいです。

村では

男性の家事力を高めるための料理教室等の開催を予定しています。

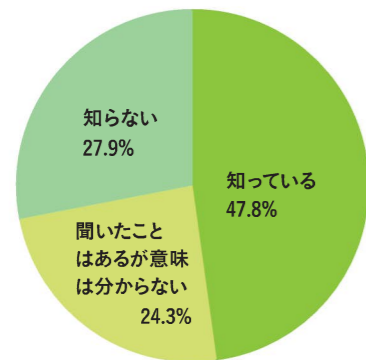
男の子らしさ、女の子らしさって?



「男の子らしさ、女の子らしさ」って何でしょうか。男の子だから、外で元気に遊ばなきゃいけない?女の子だから髪は長くなきゃいけない?かわいらしい洋服は女の子向け?昨今、性の多様性をあらかず LGBTQ や多様な人が社会で活躍することをめざすダイバーシティといった新しい考え

方が生まれています。無意識にイメージしている「男らしさ、女らしさ」のことをジェンダーといいます。男の子だから、女の子だからと決めつけないことで、こうした無意識の偏見や差別をなくしていくことが大切です。

「ジェンダー」という言葉を知っている人



朝日村で「ジェンダー」という言葉を知っている人は47.8%

見直しポイント

- ☑ 「男のくせに」「女のくせに」と考えたり言ってしまうっていませんか?
- ☑ 男の子にはブルー、女の子にはピンクと決めつけていませんか?好きな色を尊重することが大切です。



みんなの声

啓発活動が一番重要なことだと思います。子どものころからジェンダーについて考える機会を作り、長い目で時間をかけて取り組んでほしいです。小学生のころから意識を持つよう、学校や家庭で学べるといいと思います。

村では

小学校では今までトイレのドアの色が男の子は青、女の子はピンクでしたが、同じ色にしました。また、これから、図書館に関連本のコーナーを作るなど、子どもでも関心を持てるようなきっかけづくりを行います。

性のあり方はグラデーション

人間の「性のあり方(セクシュアリティ)」は単純に男性と女性の2つに分けられず、「からだの性」「こころの性(性自認)」「好きになる性(性的指向)」「表現する性(性的表現)」の要素が複雑にかけ合わさって形成されているといわれています。あなたはどうか?下のチャートで確認してみましょう。

	男	どちらでもない	女
からだの性	■	■	■
こころの性	■	■	■
好きになる性	■	■	■
表現する性	■	■	■

制服で男子はズボン、女子はスカートが当たり前?



性のあり方が多様であることが認知されるようになるにつれて、学校でもこれまでの当たり前が見直されるようになってきました。いくつか例を見てみましょう。



一つ目は制服です。これまで、「男の子はズボン、女の子はスカート」が当たり前とされてきましたが、女の子でもズボンをはいてもかまいません。むしろ、ズボンのほうが動きやすくていいかもしれませんね。

二つ目は学校内のトイレです。これまでは、女子トイレと男子トイレに分けられていましたが、誰でも使えるトイレを設置する学校も増えてきました。



見直しポイント

- ☑ 制服を男女関係なく選べるようになっていませんか?
- ☑ ご家庭でも自由に好きな洋服を選べますか?
- ☑ 学校や公共施設に「だれでもトイレ」はあたりまえにありますか?



みんなの声

近年話題となっているトランスジェンダー等について村としてしっかり考えてほしいです。「全ての人が尊重され、多様な性のあり方を認め、互いに支え合い、責任も分かち合いながら、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現」ができることを願っています。新たに起こる社会の変化に対応できるよう、村として努めてほしいと思います。

村では

多様な性のあり方を踏まえ、役場の各種申請書の性別欄を見直すなど、役場として今後できることを検討します。また、広報誌で特集を組むなど、性の多様性への理解を進めるための周知活動を行います。

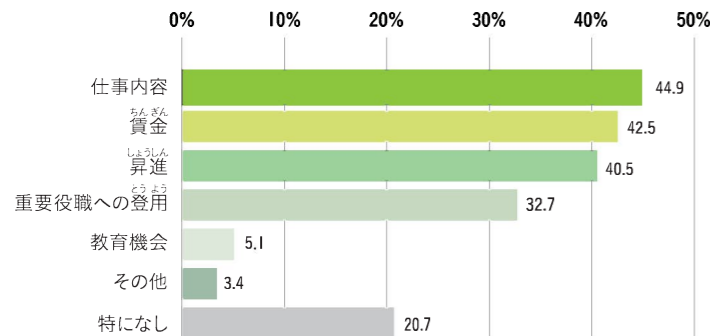
男性社員がお茶くみをするのはおかしい?



雇用の場ではいまだ男女間で待遇や機会の格差があります。村民アンケートでは「仕事内容」「賃金」「昇進」で男女の待遇の差を感じると回答した人が4割以上にのぼりました。こうした格差をなくす必要があります。待遇の格差は正はもちろん重要ですが、例えば、職場でお茶くみやコピー取りといった仕事が暗黙のうちに女性社員の役割になっていませんか。こうしたいつの間にか定着

している慣習を見直すことも大切です。また、女性が妊娠・出産で仕事を休むことで、退社を迫られたり、キャリアを断念しなければならない状況があるのも事実です。ワーク・ライフ・バランスという言葉が示すように、誰もが仕事と生活の希望を叶える権利があります。家庭の理解だけでなく、職場の制度や社員の理解がとても重要になります。

職場の中で男女差があると感じる分野



見直しポイント

- 来客対応やお茶くみを男性もあたりまえにできていますか?
- 子育てや介護で働きづらい職場環境になっていませんか?
- 誰もが働きやすいよう、リモートワークなど柔軟な働き方を取り入れていますか?

仕事内容や賃金、昇進で男女格差がみられます



みんなの声

男女の不均衡がないような対策を考えた方がいいのではないのでしょうか。男性が育児休暇を取りやすく、また、休暇明けにきちんと復帰できる職場であってほしいと思います。さらに、男性自身が育児を「手伝う」のではなく育児を「する」という意識を持ってほしいと思います。

村では

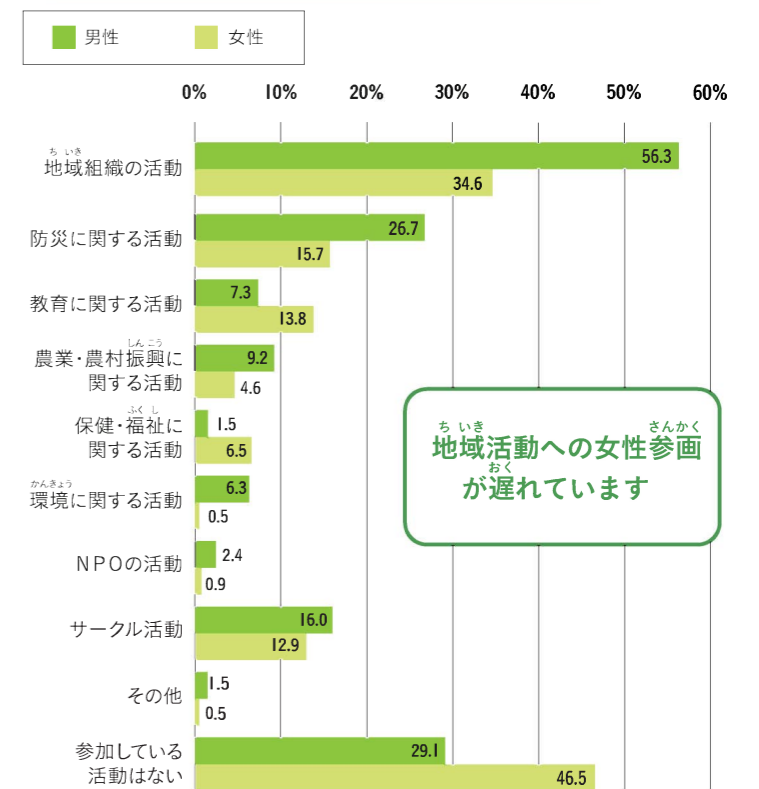
県との連携などにより、育児・介護休暇の取得しやすい環境づくりが進むよう、村内企業への啓発を進めます。

女性のPTA会長や自治会長はなぜいない?



区長・地区長や公民館長、小・中学校のPTA会長など、地域活動・組織におけるリーダーはいまだに男性が登用される慣習が残っているようです。村民アンケートで現在参加している地域活動をみると、地域組織の活動をしている割合は圧倒的に男性が高くなっています。また、参加している活動はないという女性が半数近くにのぼります。たとえば防災分野では、避難所の設営に女性の視点を取り入れることで、授乳スペースをつくるなど女性に配慮されるようになってきました。このように、地域の課題を男性だけでなく、女性を含む多様な視点で考えていくことは住みやすい地域づくりに不可欠なのです。

現在参加している活動



地域活動への女性参画が遅れています

見直しポイント

- あなたの地域の自治会に女性役員はいますか?
- 特に意味もなく、ただの慣習で男性だけ、女性だけがやることになっている役割はありませんか?
- 女性が活躍できる地域の活動を洗い出してみましょう。



みんなの声

女性の消防団員がもっと増えてもいいと思います。自治会組織の役員にも女性を選出し、男女共同参画の視点を入れられるようにしてほしいです。また、女性の議員さんがもっと増えてほしいです。どの活動にも男女がいる風景を作り出すことが大切だと思います。

村では

地域組織での女性活躍が進むよう呼びかけを行います。また、村の組織の委員の選出時には、女性枠を設けるなどの工夫をし、女性委員の人数増加を目指します。

なや
悩んだら相談してみましょ！
さんかく
長野県男女共同参画センター「あいとぴあ」

【愛】【合】【会】【I】の〈アイ〉と〈ユートピア〉からなる“あいとぴあ”の愛称で親しまれている長野県男女共同参画センターは、男女共同参画社会づくりに関する活動を支援する総合的な施設として、岡谷市の諏訪湖のほとりに、昭和59年に設置されました。

あいとぴあでは、男女共同参画の理解促進のため、講座の開催や参考図書の貸し出しなど、幅広い活動を行っています。また、各種相談を行っていますので、お悩みの際は気軽に相談してみましょ。



女性相談

家族や夫婦のこと、育児や介護、仕事の悩みなど、女性相談員による電話相談(要予約)
※弁護士による相談や、カウンセリングも行っています(要予約)。

相談専用電話 0266-22-8822 火～土曜日 9:00～12:00 13:00～16:30

男性相談

家庭、夫婦、人間関係、生き方の悩みなど、男性相談員による電話相談 0266-22-7111
毎週金曜日 17:00～19:00

あいとぴあ相談専用電話 0266-22-8822

所在地

〒394-0081 岡谷市長地権現町4-11-51

条例や計画をみるには

▶インターネットで検索できます。

朝日村男女共同参画



QRコードからも
アクセスできます。

問い合わせ先

朝日村 総務課 総務人事係

〒390-1188

長野県東筑摩郡朝日村大字古見1555番地1

電話：0263-99-4101

FAX：0263-99-2745

発行：令和4年3月 朝日村
〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字古見1555番地1

電話：0263-99-2001
ホームページ：https://www.vill.asahi.nagano.jp/

